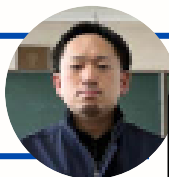


職員ペンリレー

石見 志広

(英語)



今年、以前受け持ったことのある生徒から「先生、宇久に行ってから楽しそうですね」と声をかけてもらいました。

宇久に来て3年目、教員になって10年目になります。高校だけでなく、小・中学校の児童・生徒とも関わらせていただき、また保護者の皆さまとも日頃から生徒のことをお話できる——そのような環境で仕事をする中で、改めて気づいたことがあります。生徒の成長に携われること、そして一緒に成長できること。私はこの仕事が好きで、宇久で幅広い年代の児童・生徒と関わる中で、その理由を言葉にできるようになったと感じています。

だからこそ、その生徒が「楽しそうですね」と言ってくれたのかもしれません。私はそのとき、「毎年楽しいよ」とまっすぐに伝えることができました。

ときには私の未熟さゆえに、生徒と意見がぶつかることもあります。けれども、そのたびに生徒の皆さんや保護者の皆さまと率直に話し合い、ともにこれからのことを考えられる環境があることに、深く感謝しています。これからもどうぞよろしく願っています。

第2回離島留学体験を開催しました！

10月4日（土）・5日（日）、第2回「離島留学体験」を実施しました。今回は3名の中学生に参加していただきました。第1回と同様に、1日目は本校の授業や Uku Labo 体験を、2日目はシーカヤックや釣りなどの宇久島体験を行いました。参加者は当初の緊張も次第にほぐれ、在校生との対話や体験活動を通して、宇久高校の学びと宇久島の魅力を肌で実感している様子でした。ご参加くださった皆さま、ならびにご協力いただいた地域の皆さま・民泊関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。



Ukuサイエンスパーク情報



Ukuサイエンスパーク

NEW

島原高・寺井邦久先生と学ぶ 「宇久島の地質」

10月2日（木）、島原高等学校の寺井邦久先生にご来島いただき、宇久島の地質をテーマに出前授業を実施しました。授業では、宇久島が火山島であること、そしてその成り立ちが現在の美しい地形を形づくっていることについて、わかりやすくご説明いただきました。

校外ではフィールドワークを行い、実際に火成岩を観察。大浜海水浴場やスゲ浜海水浴場では、火山活動の痕跡を確認することができ、教室だけでは得られない発見が数多くありました。

今回の学びを通して、私たちは身近な自然に科学的な視点で向き合い、宇久島の新たな魅力に気づくことができました。寺井先生、貴重なご指導をありがとうございました。





学年の窓News!

宇久高校の「今」をお届けします。

各学年の職員から

1年生



10月1日(水)に、神奈川県にある自修館中等教育学校の生徒4名が宇久高校を訪れ、本校1・2年生と対面での交流を行いました。

お互いの探究テーマや校則、学校生活など、取り巻く環境が異なる同年代の仲間たちと情報交換や意見交換を行いました。短い時間での交流でしたが、最後には弾ける笑顔で話に花を咲かせていました。

リモートでの交流は何度か経験してきた1年生ですが、対面での交流は今回が初めてとなりました。対面でしか得られない学びや刺激、充実感を味わうことができたのではないかと思います。これを機に勇気を持って、どんどん外の世界にも足を踏み出してほしいです。

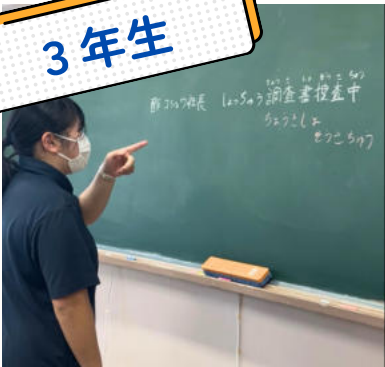
(角田)

2年生



文化祭、新人戦などいよいよ学校の中心となって動かなければならない舞台が増えてきた今日この頃。2年生の3人はそれぞれに葛藤しながら毎日を戦っているようです。気づけば今年度も下半期です。挑戦しなければならないことはたくさんあるとは思いますが、この日々が成長につながると信じています。挑戦した末の失敗はなんとかあります。だからこそがんばれば、2年生。(石見)

3年生



進路実現に向けた学習も佳境を迎えていますが、3学年の2人は時に息抜きもしながら、日々の学習に取り組んでいます。先日自学の様子を見にいくと、早口言葉勝負をしていたので私も参加しました。結果は全員負けでしたが、どうすれば噛まずに言えるか、コツをみんなで話し合いました。

休憩してリラックスした後、少ししてまた様子を見にいくと、集中して学習に取り組む2人の姿がありました。

進路実現に向け、最後までこの調子で取り組んでいてほしいと思います。(村里)

本校1年生 中村 真帆さん 「第72回国際協力・国際理解のための 高校生の主張コンクール」にて 文部科学大臣賞を受賞!

全国各地から集まった高校生が競う「第72回国際協力・国際理解のための高校生の主張コンクール」中央大会が東京で開催され、本校1年の中村真帆さんが文部科学大臣賞(特賞・1位相当)を受賞しました。中村さんは、離島の子どもたちが世界とつながり、生まれた場所にかかわらず質の高い学びと夢を実現できる未来を作ることの重要性を主張しました。今回の受賞に伴い、中村さんは、ほかの特賞受賞者3名とともに、来年の春休みに約1週間、「奥・井ノ上記念日本青少年国連訪問団」の一員として米国ニューヨークを訪問し、国連本部の視察や国連関係者との懇談会等に参加する予定です。今後のさらなる学びと挑戦にご期待ください。



閲覧ありがとうございます